

景気動向調査結果

(平成25年4月分)

長野県商工労働部

この調査は、県内企業 900 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業 600 社）を対象に、平成 25 年 4 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 25 年 5 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査からは、従来の「製造業」に、「建設業」、「情報サービス業」、「小売業・卸売業」、「飲食業・宿泊業」も加えて実施しております。

回答企業数は、554 社（製造業 238 社（うち面接 64 社）、建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業 316 社）で、回答率は 61.6 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

[URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/syoukou/sinkou/keiki/keikidoukou.htm>]

お問い合わせ先：製造業について

長野県商工労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業について

長野県商工労働部経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2964）

平成25年4月の景気動向

1 総論

長野県経済は、弱さが残るものの、持ち直しに向けた動きが広がりつつあります。

製造業では、一般機械の一部で、受注、生産の減少がみられるものの、自動車部品、電機・電子では、円安傾向に伴う輸出環境の改善などにより、受注、生産の持ち直しがみられます。

非製造業では、一部で個人消費に持ち直しの動きがみられるほか、建設業や飲食業・宿泊業では、大幅に業況が改善しています。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（24年4月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差、%）は $\Delta 26.9$ となり、9期連続のマイナスとなりましたが、前回調査時（25年1月）の $\Delta 49.2$ より22.3ポイント改善しました。

3か月前（25年1月）と比較したD Iは5.9となり、前回調査時の $\Delta 40.8$ より46.7ポイントと大幅に改善し、7期ぶりにプラスとなりました。また、前回調査時の3か月後の予想値 $\Delta 8.9$ と比較しても、14.8ポイント改善しました。

なお、3か月後（25年7月）の予想では、原材料価格上昇などの懸念はあるものの、円安傾向に伴う輸出環境のさらなる改善や、国内景気回復への期待感などを背景に、D Iは10.5となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連は、受注、生産の回復がみられるものの、製品価格が低下しています。プリンターは、海外需要に加え、国内需要も減少したため、受注、生産の減少がみられます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、デジタル家電向けで受注、生産が減少しているものの、自動車関連向けでは、円安傾向に伴う輸出環境の改善などにより、受注、生産の回復がみられます。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体関連向けで、設備投資が抑制傾向にあり、受注、生産の減少がみられるものの、自動車関連向けでは、海外向けで、持ち直しの動きがみられます。建設機械は、国内向けで、復興需要の継続により、生産が増加しているほか、海外向けで、欧米を中心とした需要の増加により、受注、生産の増加がみられます。

ウ 精密では、時計は、高価格帯製品の需要は増加しているものの、海外需要の減少により、受注、生産の減少がみられます。レンズは、プロジェクター向けで、需要の減少により、生産の減少がみられるほか、製品価格低下による収益率の低下もみられます。計器は、圧力計で、産業機械関連向けを中心に、受注、生産の減少がみられます。

エ 自動車部品では、中国における自動車販売減少などによる影響がみられるものの、円安傾向に伴う輸出環境の改善により、受注、生産の持ち直しがみられます。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、受注、生産の増加がみられるものの、原材料価格上昇による収益率の低下がみられます。酒類は、一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。飲料は、需要期を控え、ペットボトル飲料を中心に、受注、生産が増加しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が22.1%と前回(10.7%)より大幅に増加し、「減少」とする企業が43.0%と前回(54.1%)より減少した結果、D Iは前回(△43.4)より大幅に改善し、△20.9となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が34.0%と前回(11.5%)より大幅に増加し、「減少」とする企業が22.6%と前回(49.2%)より大幅に減少した結果、D Iは前回(△37.7)より大幅に改善し、11.4となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が28.0%、「減少」とする企業が16.8%となった結果、D Iは前回予想(△10.7)より大幅に改善し、11.2となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が22.4%と前回(11.3%)より増加し、「減少」とする企業が45.1%と前回(55.6%)より減少した結果、D Iは前回(△44.3)より改善し、△22.7となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が33.8%と前回(12.1%)より大幅に増加し、「減少」とする企業が23.6%と前回(48.4%)より大幅に減少した結果、D Iは前回(△36.3)より大幅に改善し、10.2となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が28.1%、「減少」とする企業が17.0%となった結果、D Iは前回予想(△12.5)より改善し、11.1となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が8.5%と前回(5.7%)より増加し、「安い」とする企業が31.5%と前回(38.6%)より減少した結果、D Iは前回(△32.9)より改善し、△23.0となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が6.4%と前回(5.3%)より増加し、「安い」とする企業が15.0%と前回(16.3%)より減少した結果、D Iは前回(△11.0)より改善し、△8.6となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が3.4%、「安い」とする企業が15.0%となった結果、D Iは前回予想(△14.0)より改善し、△11.6となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が6.1%と前回(6.7%)よりやや減少したものの、「苦しい」とする企業も26.6%と前回(29.6%)より減少した結果、D Iは前回(△22.9)より改善し、△20.5となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が6.6%と前回(6.2%)とほぼ同じとなり、「苦しい」とする企業が16.6%と前回(22.8%)より減少した結果、D Iは前回(△16.6)より改善し、△10.0となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が5.2%、「苦しい」とする企業が18.8%となった結果、D Iは前回予想(△16.8)より改善し、△13.6となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が12.8%と前回(9.8%)より増加し、「低下」とする企業が49.8%と前回(53.5%)より減少した結果、D Iは前回(△43.7)より改善し、△37.0となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が20.0%と前回(6.9%)より大幅に増加し、「低下」とする企業が28.1%と前回(45.7%)より減少した結果、D Iは前回(△38.8)より大幅に改善し、△8.1となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が14.0%、「低下」とする企業が32.3%となった結果、D Iは前回予想(△21.7)より改善し、△18.3となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコン関連は、受注、生産の回復がみられるものの、製品価格が低下しています。プリンターは、海外需要に加え、国内需要も減少したため、受注、生産の減少がみられます。

(半導体関連) デジタル家電向けで、需要の減少により、受注、生産が減少しているものの、自動車関連向けや産業用途では、一部で受注、生産の持ち直しがみられます。

(プリント基板) 産業用途で、海外需要の減少により、受注、生産が減少しているものの、スマートフォン向けでは、海外需要の増加により、受注、生産の増加がみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) デジタル家電向けで、需要の減少により、受注、生産が減少しています。自動車関連向けでは、持ち直しに向けた動きがみられるほか、エネルギー関連向けで、太陽光発電の普及拡大に伴い、受注、生産の増加がみられます。

(モーター等) 家電向けの一部で、アジアを中心とした新興国の需要増加や省エネ家電製品の販売増加に伴い、受注、生産の持ち直しがみられるほか、自動車関連向けで、受注、生産の回復がみられます。

(その他) カーナビゲーションは、円安傾向に伴う輸出環境の改善により、受注、生産の増加がみられます。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 半導体関連向けで、設備投資が抑制傾向にあり、受注、生産の減少がみられるものの、自動車関連向けでは、海外向けで、持ち直しの動きがみられます。

(金 型) 自動車関連向けは、受注、生産が低調に推移しているほか、価格競争激化による収益率の低下もみられます。

(建設機械) 国内向けで、復興需要の継続により、生産が増加しているほか、海外向けで、欧米を中心とした需要の増加により、受注、生産の増加がみられます。

(農業用機械等) 国内向けの一部で、需要の増加により、受注、生産が増加しているほか、海外向けの一部で、受注、生産の持ち直しがみられます。

精 密

(時 計)

腕時計は、高価格帯製品の需要は増加しているものの、海外需要の減少により、受注、生産の減少がみられます。

(レ ン ズ)

プロジェクター向けは、需要の減少により、生産の減少がみられるほか、製品価格低下による収益率の低下もみられます。

(計 器)

圧力計は、産業機械関連向けを中心に、受注、生産の減少がみられます。LP ガスメーターは、季節的要因により、受注、生産が増加しています。

自 動 車 部 品

中国における自動車販売減少などによる影響がみられるものの、円安傾向に伴う輸出環境の改善により、受注、生産の持ち直しがみられます。

食 料 品

(味 そ)

季節的要因により、受注、生産の増加がみられるものの、原材料価格上昇による収益率の低下がみられます。

(酒 類)

清酒、ワインは、一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。

(飲 料)

需要期を控え、ペットボトル飲料を中心に、受注、生産が増加しています。

織 維 ・ 衣 服

ワイシャツは、季節的要因により、受注、生産が増加しています。

紙 ・ パルプ

ダンボールは、農産物向けの一部で、受注、生産の増加がみられます。

印 刷

印刷・製本の需要が引き続き低迷しているものの、季節的要因により、受注、生産の増加がみられます。

そ の 他

工業用プラスチックは、スマートフォン向けで、受注、生産の増加がみられます。

3 非製造業

(1) 業界の業況

非製造業のD Iは、建設業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業で改善しました。

前年同期(24年4月)と比較したD Iは $\Delta 23.5$ となり、前回調査時(25年1月)の $\Delta 40.5$ より17.0ポイント改善しました。

3か月前(25年1月)と比較したD Iは $\Delta 3.3$ となり、前回調査時の $\Delta 42.2$ より38.9ポイントと大幅に改善しました。また、前回調査時の3か月後の予想値 $\Delta 11.6$ と比較しても、8.3ポイント改善しました。

なお、3か月後(25年7月)の予想では、一部で景気回復への期待感はあるものの、D Iは $\Delta 11.2$ にとどまっています。

(2) 各業界の動き

ア 建設業

建設業の業況感は、D Iが3.4と前回($\Delta 22.8$)より大幅に改善しました。

公共工事では、引き続き事業者間の受注競争等により厳しい受注環境にあるものの、民間工事では、住宅関連の受注が増加したことなどから、客数(受注件数)は前年同期を上回る企業の割合が増加しました。

イ 情報サービス業

情報サービス業の業況感は、D Iが22.2と前回(40.0)より悪化しました。

ソフトウェア関連では、情報端末向けの需要が引き続き堅調であるほか、業務用システム関連では、企業や学校からの受注の増加がみられ、売上高は前年同期を上回る企業の割合が増加したものの、一部で取引先の外注費抑制や同業者間の価格競争がみられます。

ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況感は、D Iが $\Delta 33.6$ と前回($\Delta 45.6$)より改善しました。

小売業では、消費者の低価格志向や同業者間の価格競争により業況は低調に推移しているものの、客数(取引先数)は前年同期を上回る企業の割合が増加しました。

卸売業では、消費の緩やかな回復により、主に製造業や建設業を取引先とする企業で、客数(取引先数)の増加がみられます。

エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況感は、D Iが2.3と前回($\Delta 39.0$)より大幅に改善しました。

飲食業では、一部で原材料価格の上昇がみられるものの、営業の強化や観光地での外食の増加などにより、売上高は前年同期を上回る企業の割合が増加しました。

宿泊業では、国内に加え海外からの観光客が増加し、売上高、客数はともに前年同期を上回る企業の割合が増加しました。

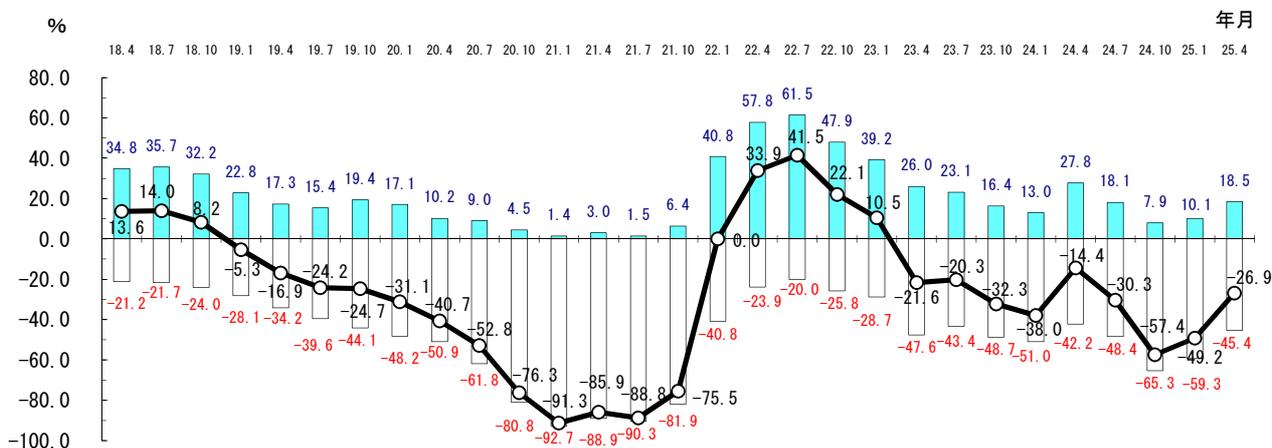
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

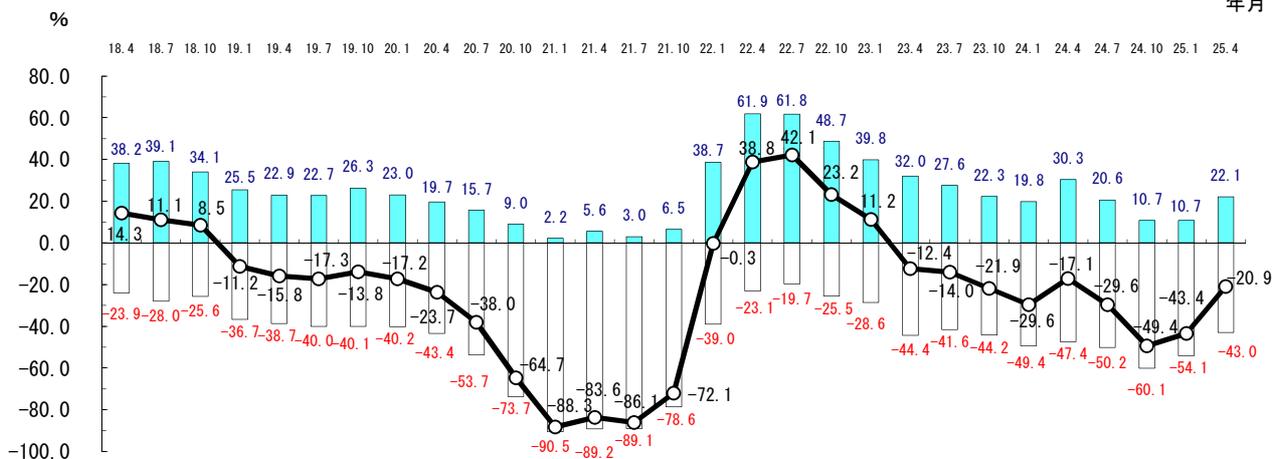
1 製造業

(1) 全業種 前年同期に比べて

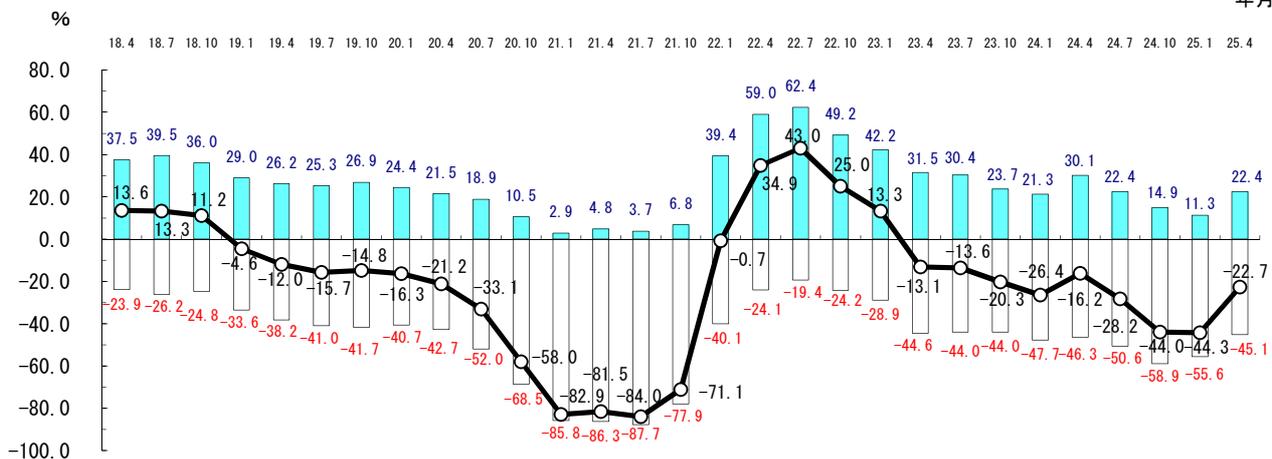
業界の業況



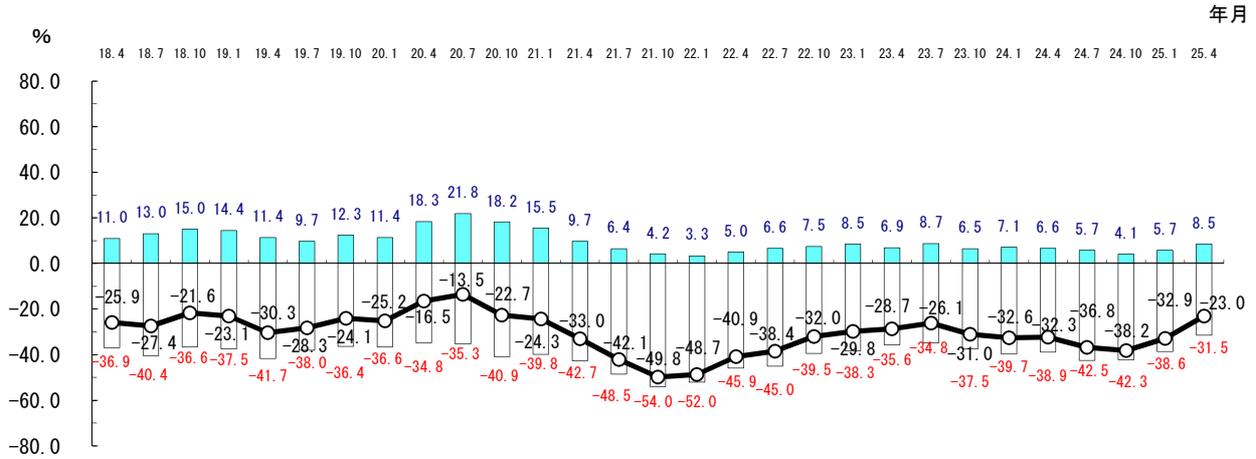
受注引合



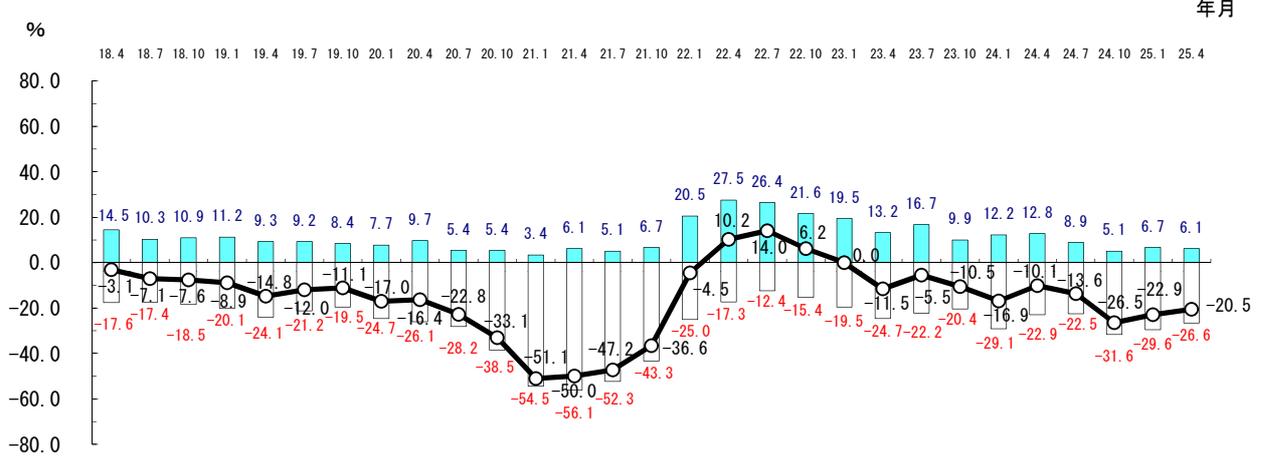
生産量



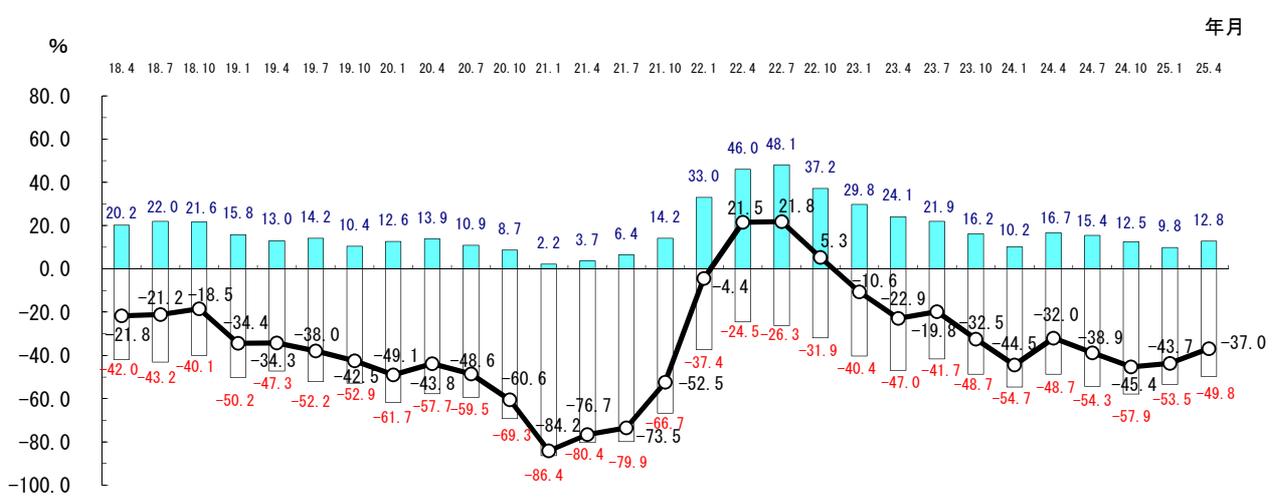
製品販売価格



資金繰り

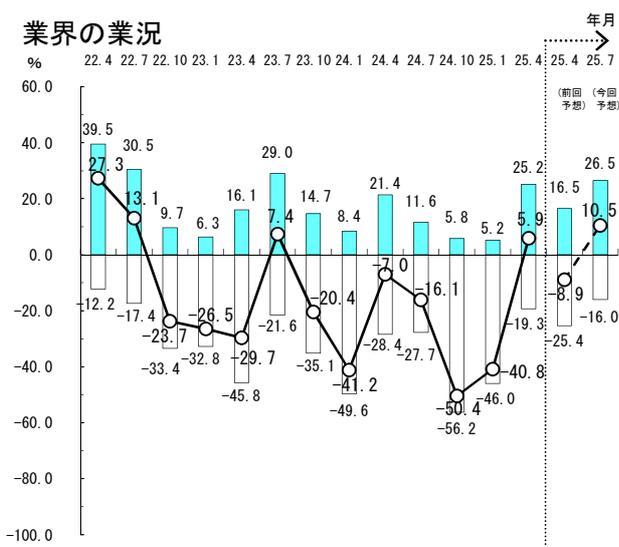


収益率

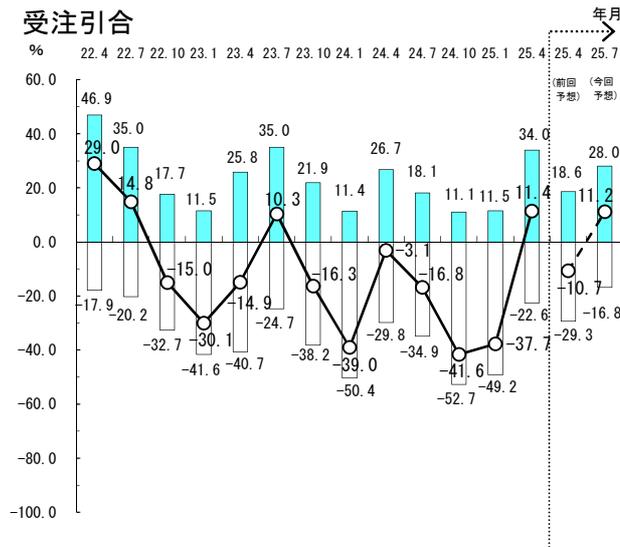


(2) 全業種 3か月前に比べて及び3か月の予想

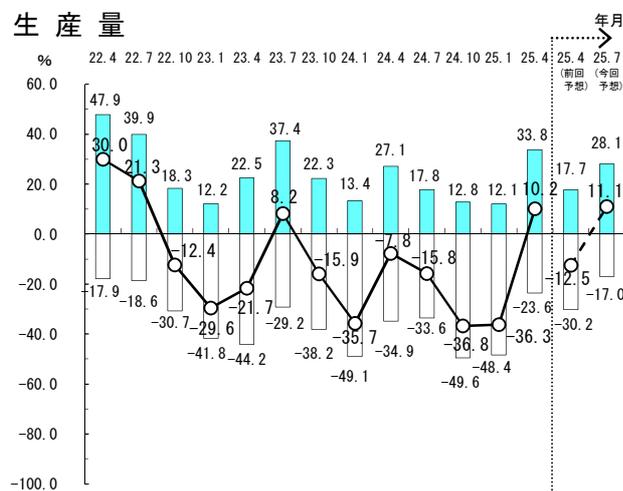
業界の業況



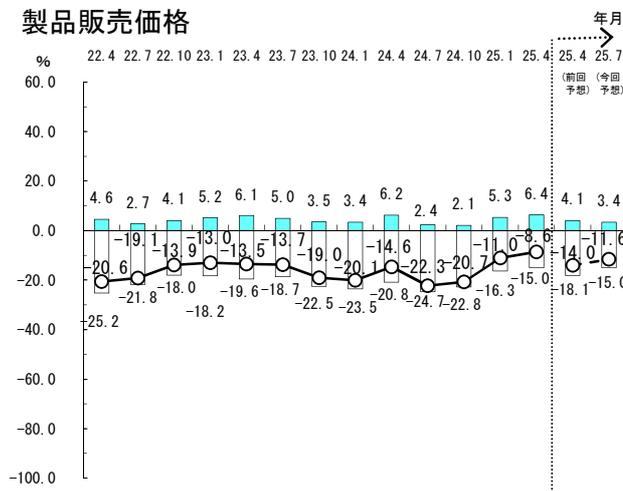
受注引合



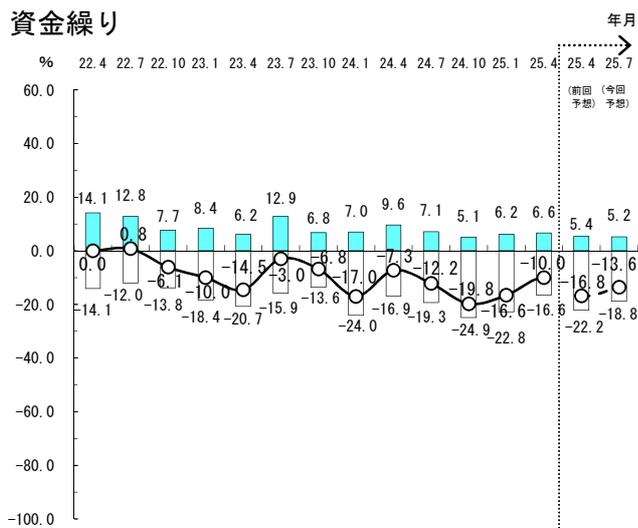
生産量



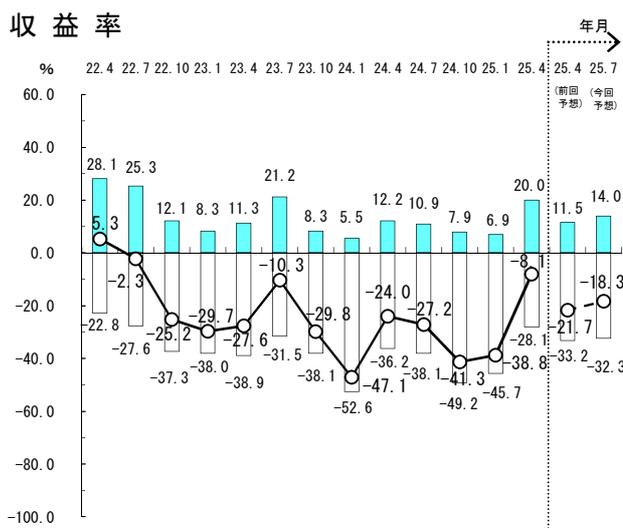
製品販売価格



資金繰り



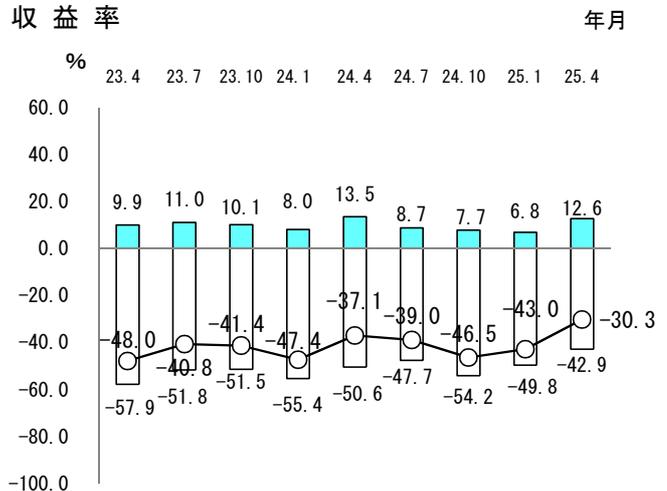
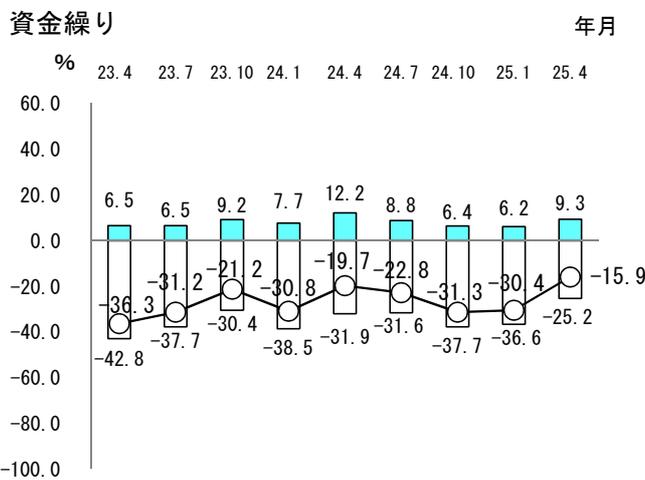
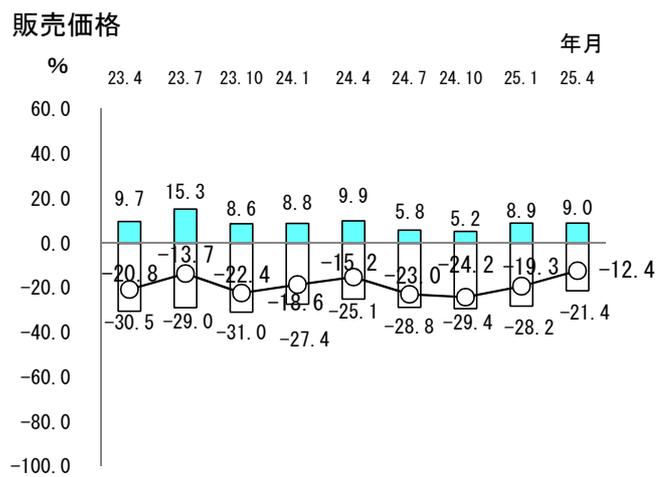
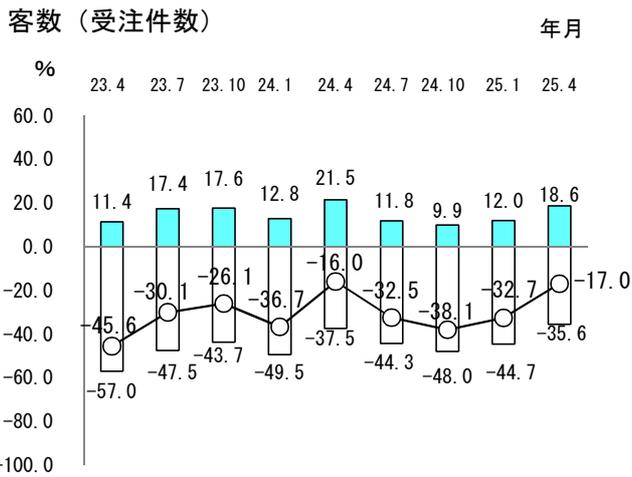
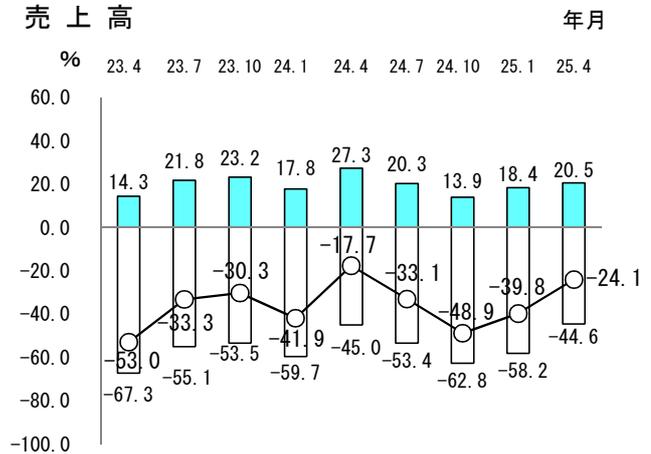
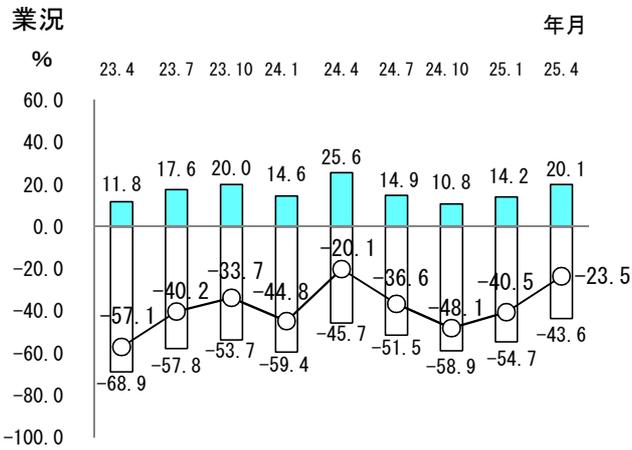
収益率



2 非製造業

(1) 前年同期に比べて

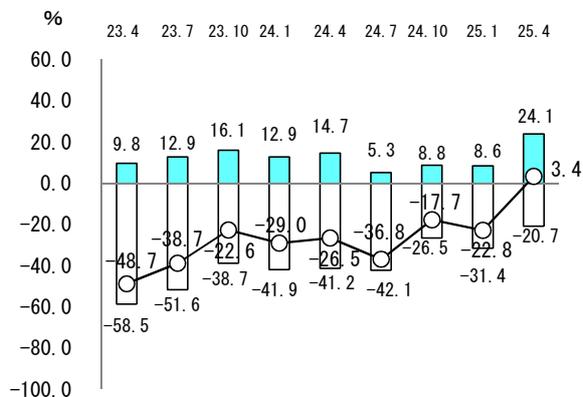
ア 非製造業全体



イ 建設業

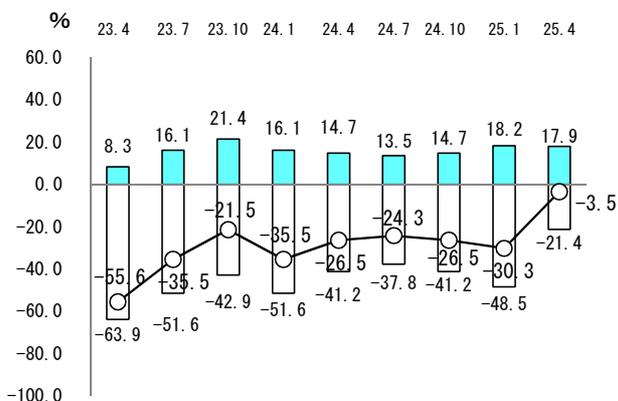
業況

年月



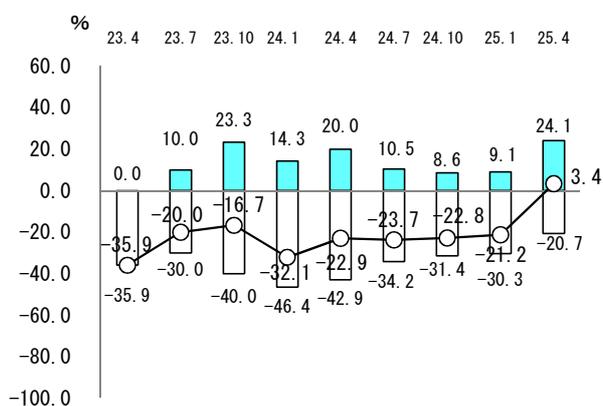
売上高

年月



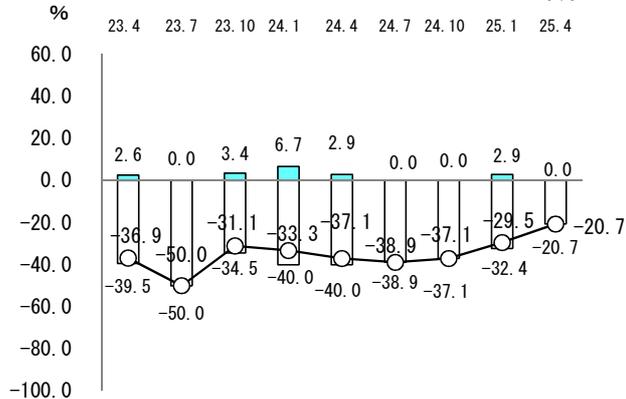
客数 (受注件数)

年月



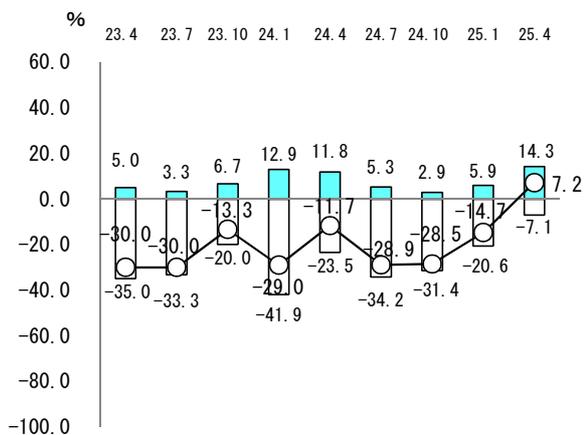
販売価格

年月



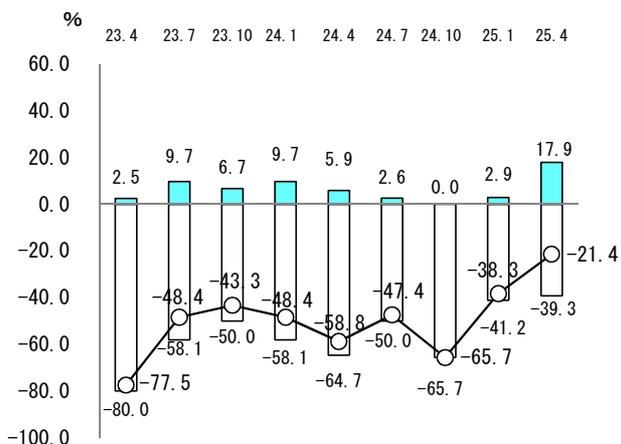
資金繰り

年月



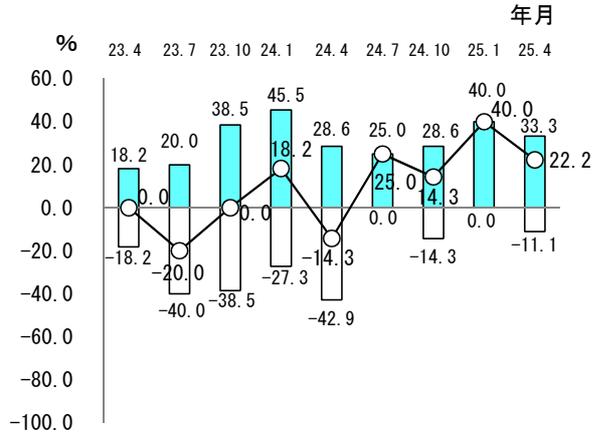
収益率

年月

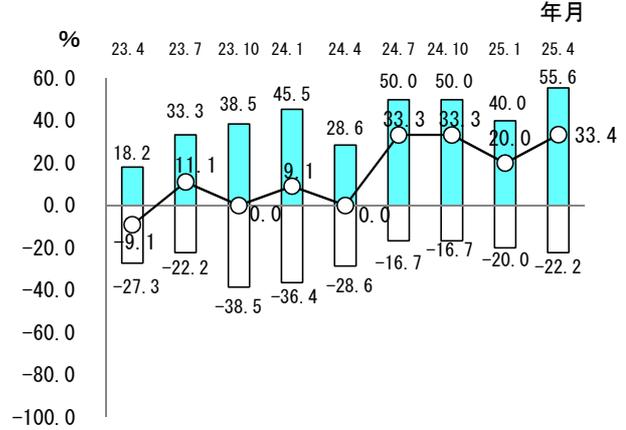


ウ 情報サービス業

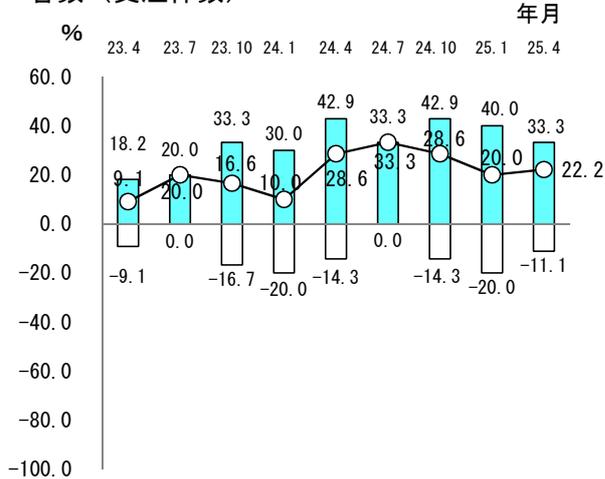
業況



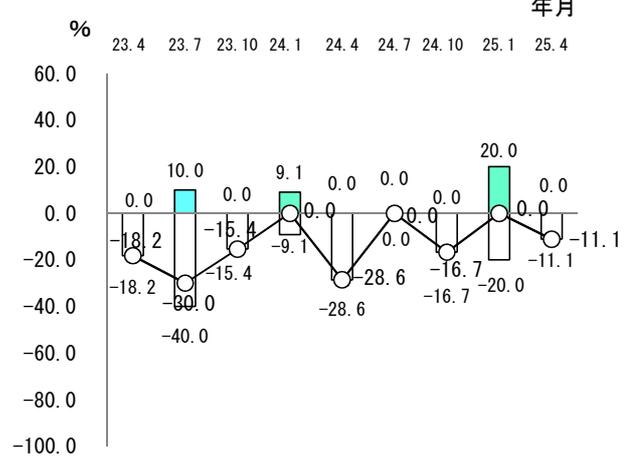
売上高



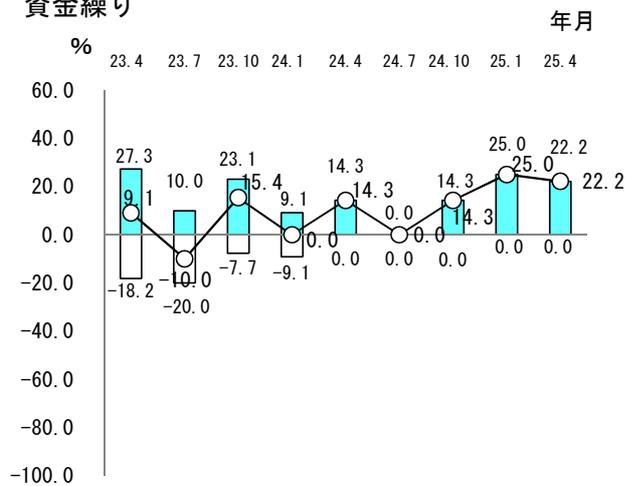
客数 (受注件数)



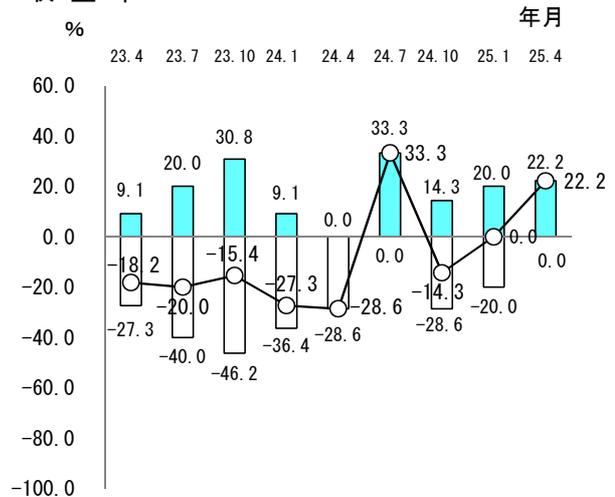
販売価格



資金繰り

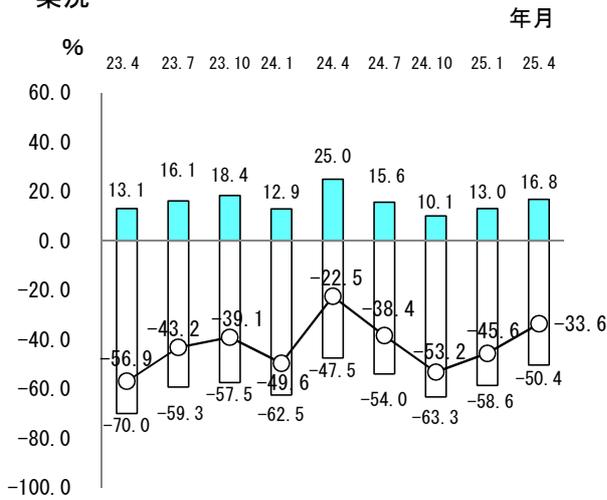


収益率

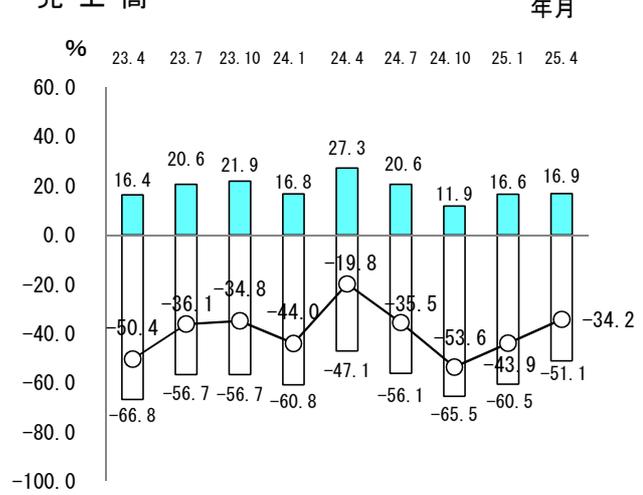


工 小売業・卸売業

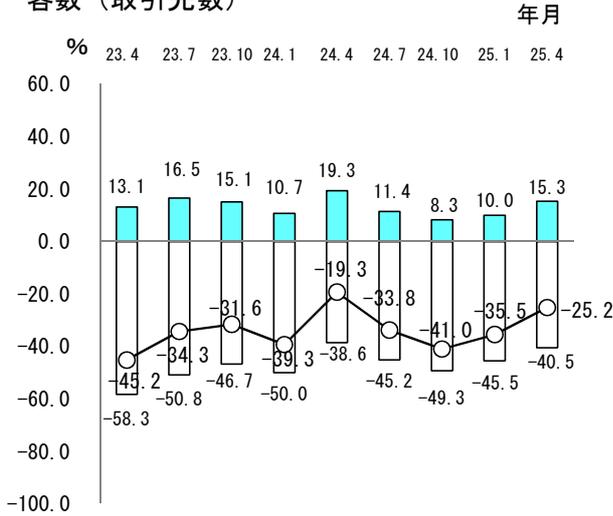
業況



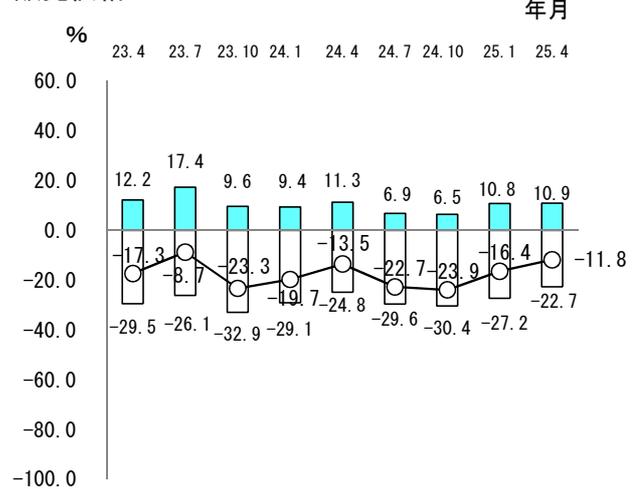
売上高



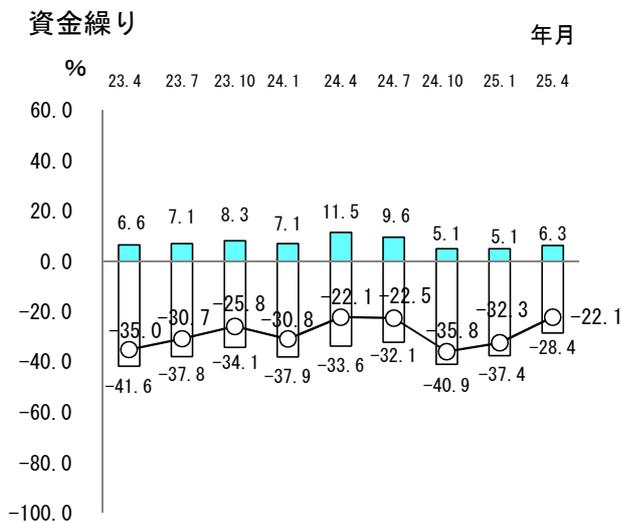
客数 (取引先数)



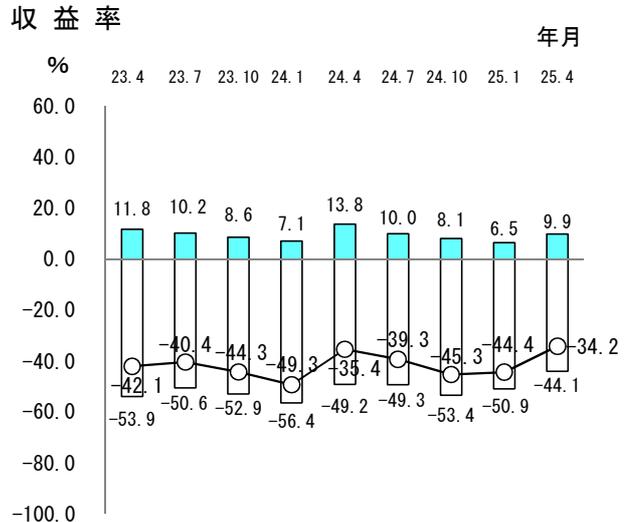
販売価格



資金繰り

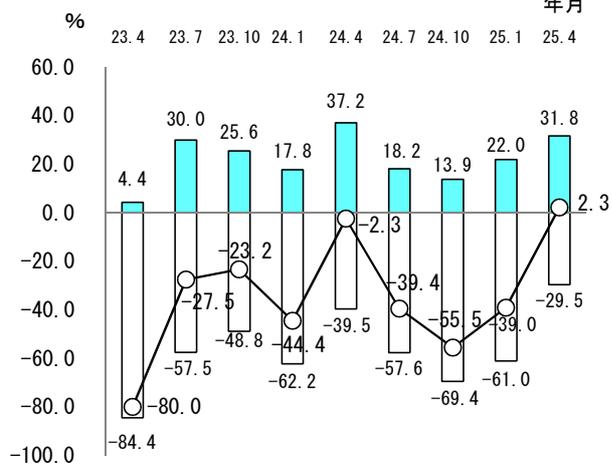


収益率

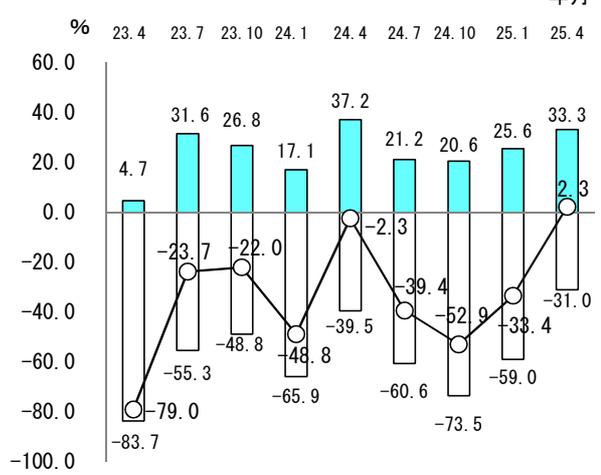


才 飲食業・宿泊業

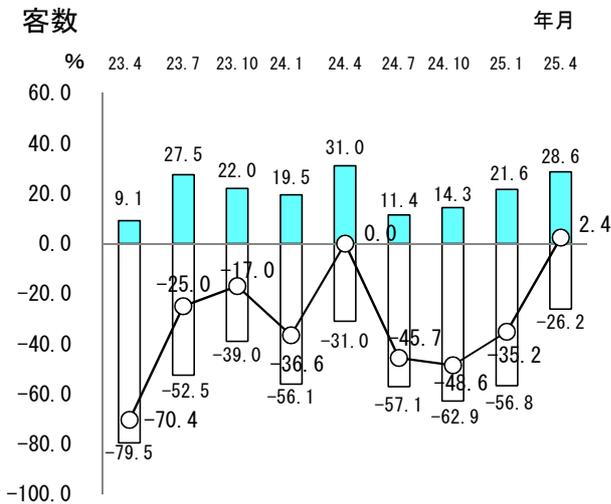
業況



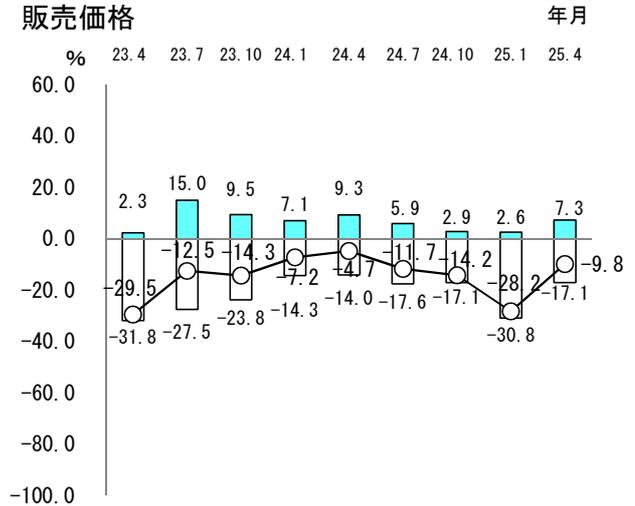
売上高



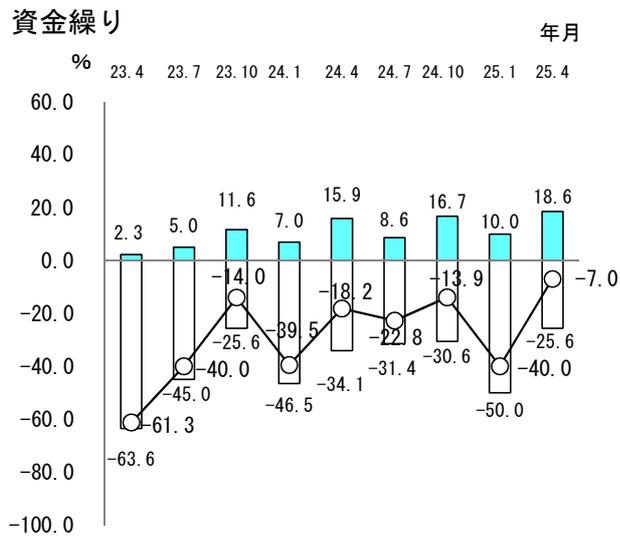
客数



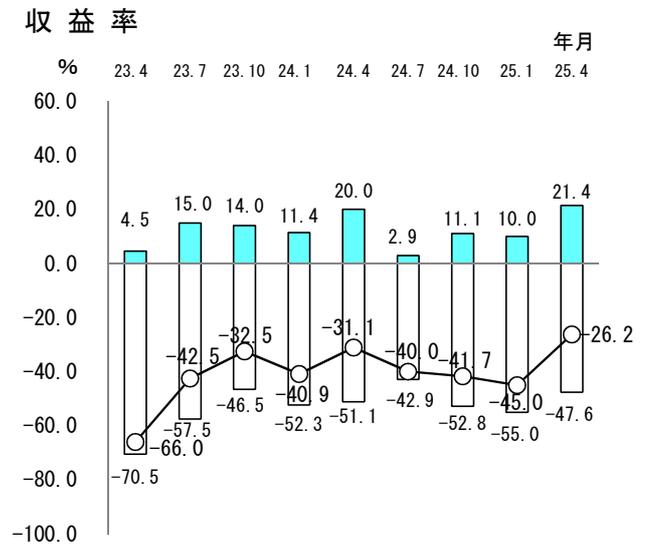
販売価格



資金繰り



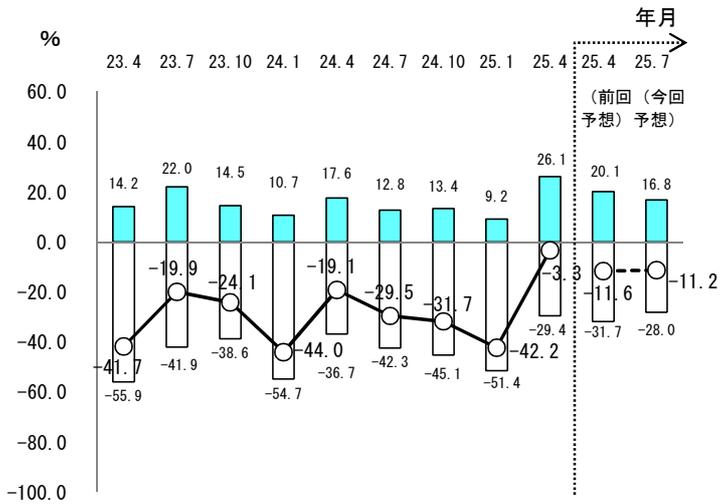
収益率



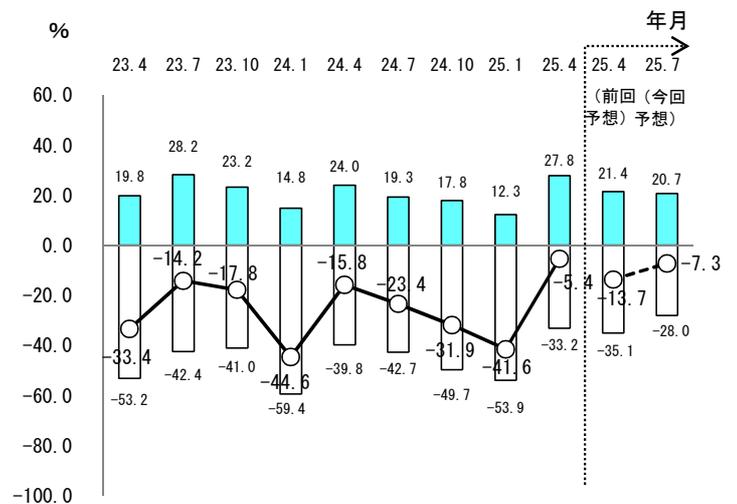
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

ア 非製造業全体

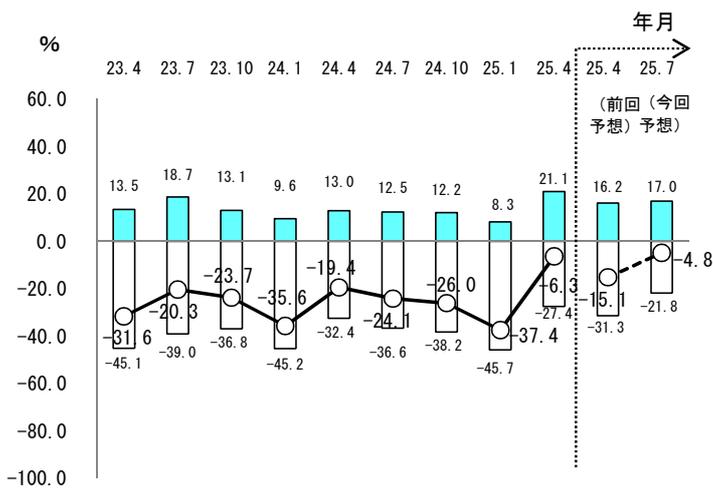
業況



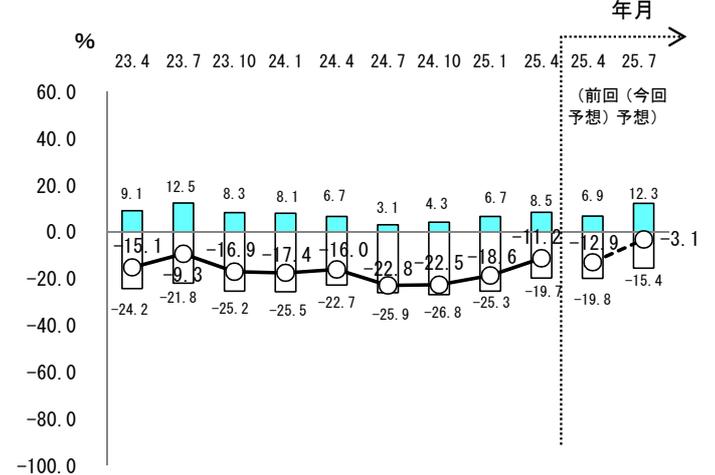
売上高



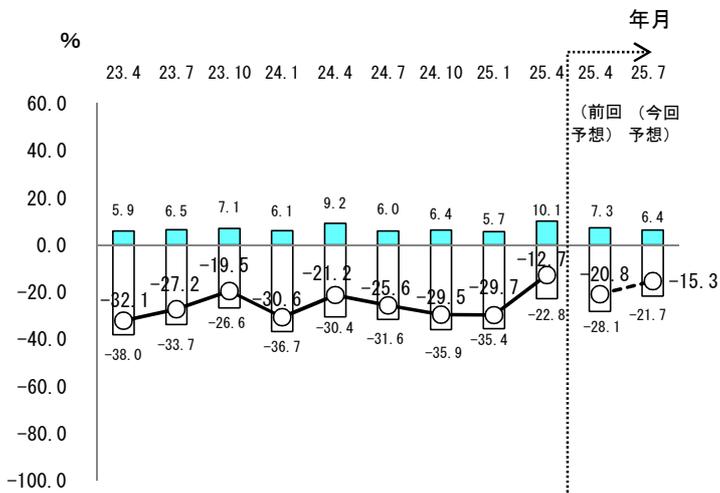
客数 (受注件数)



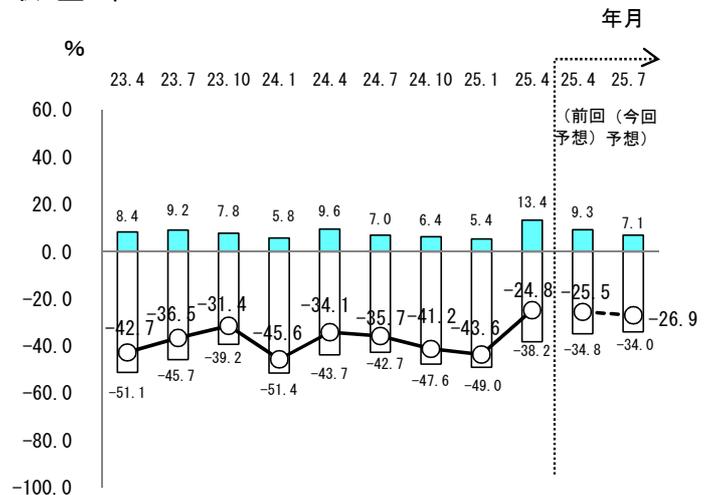
販売価格



資金繰り

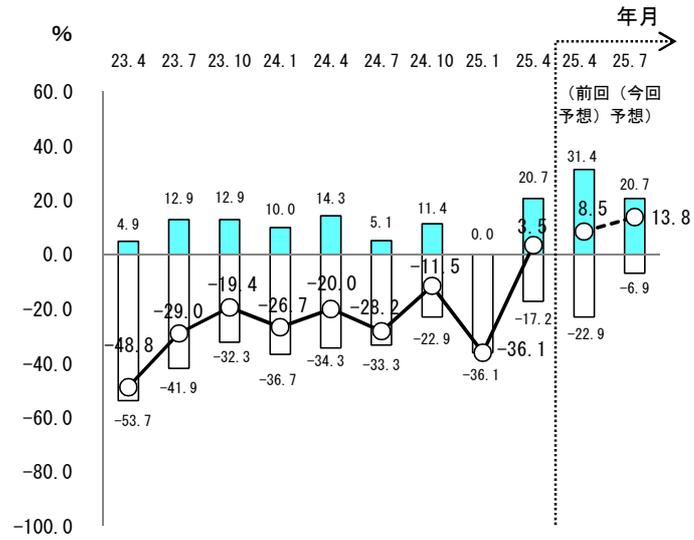


収益率

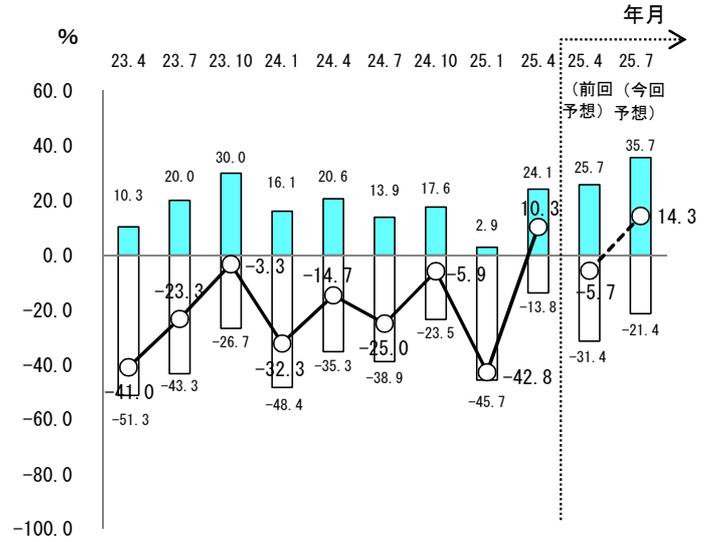


イ 建設業

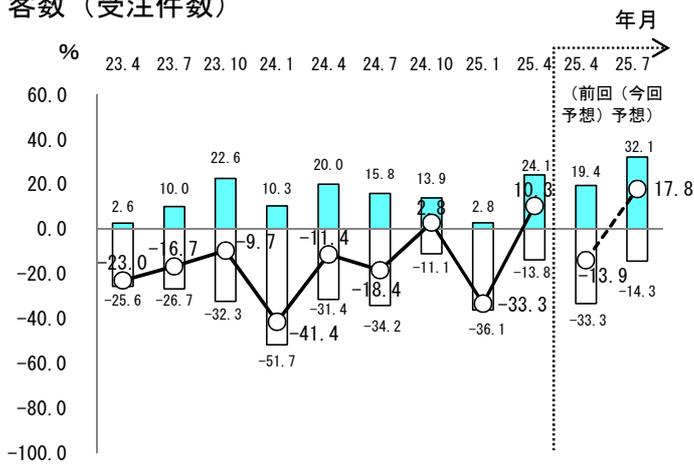
業況



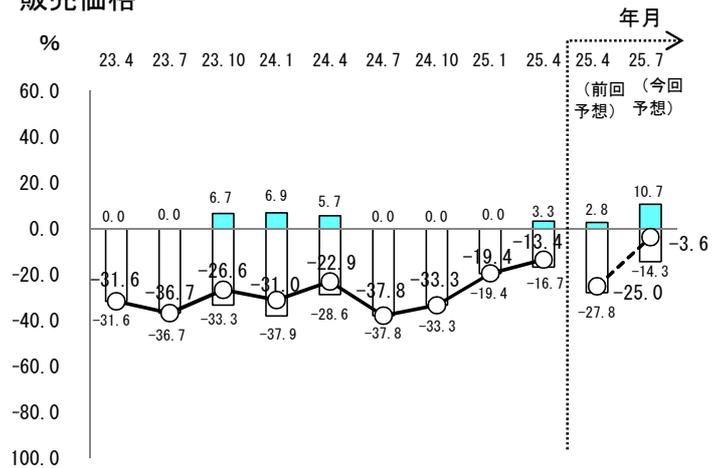
売上高



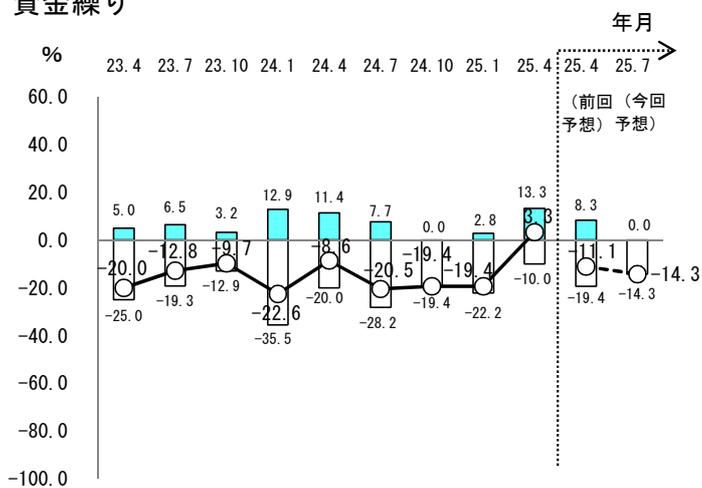
客数 (受注件数)



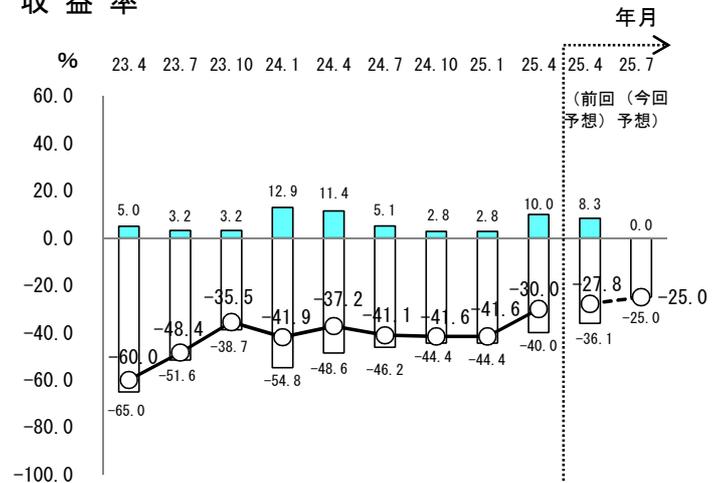
販売価格



資金繰り

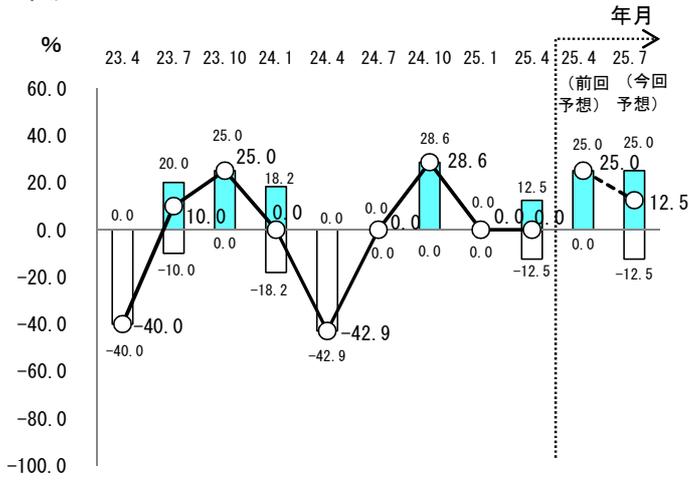


収益率

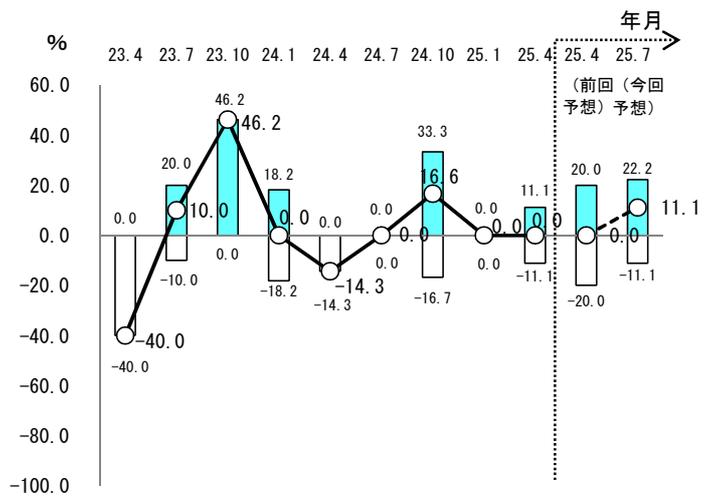


ウ 情報サービス業

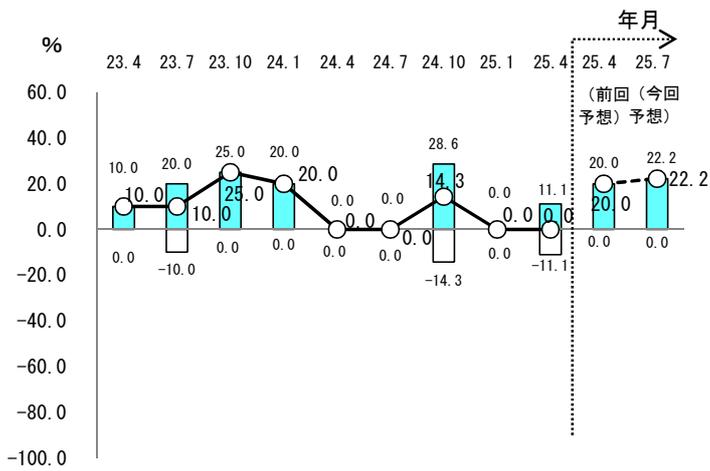
業況



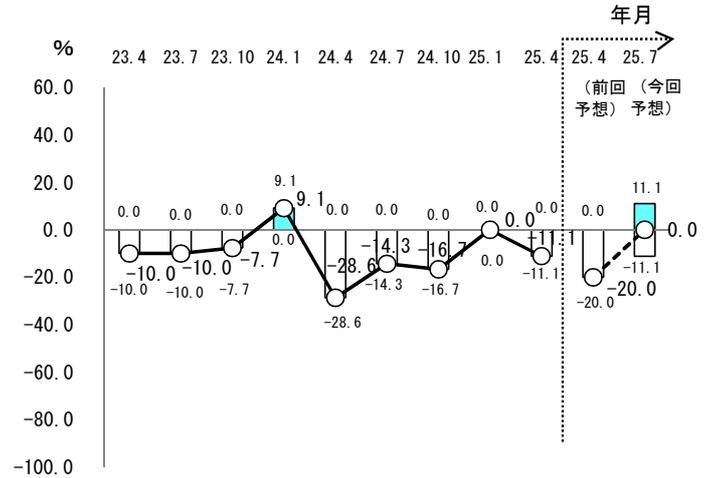
売上高



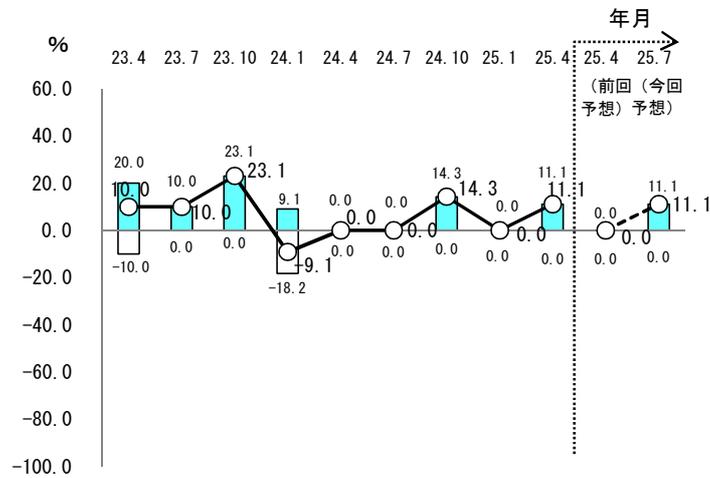
客数 (受注件数)



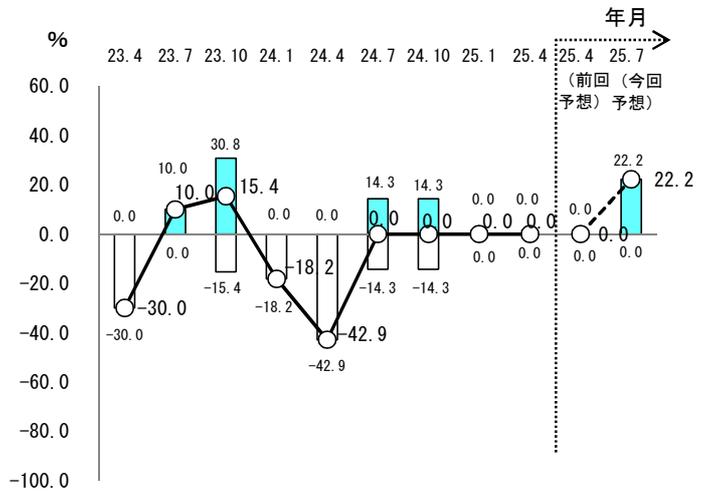
販売価格



資金繰り

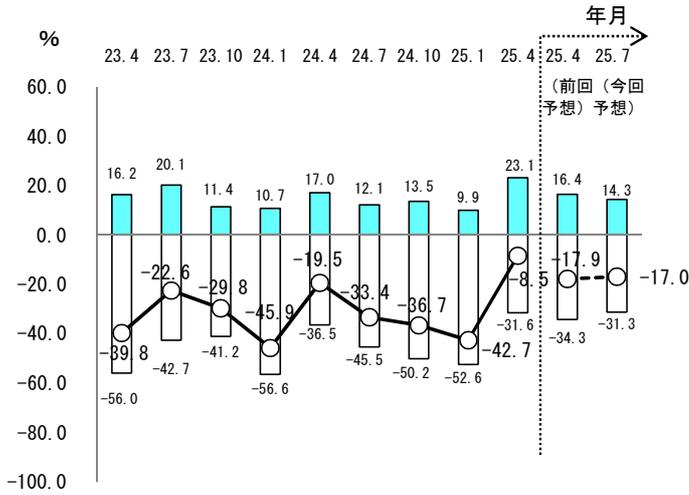


収益率

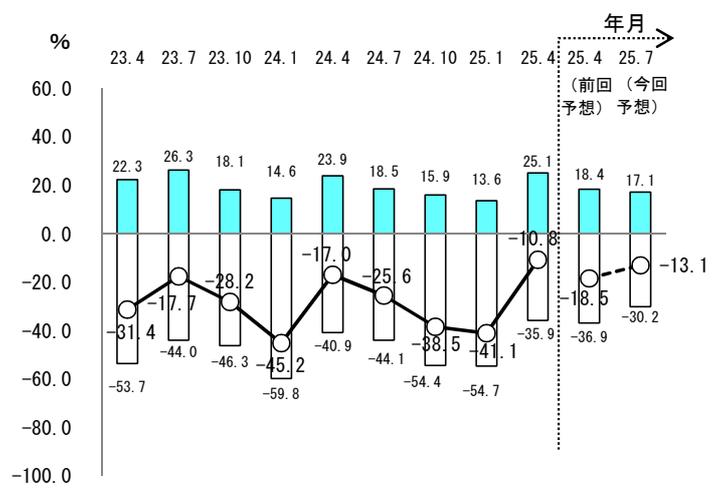


工 小売業・卸売業

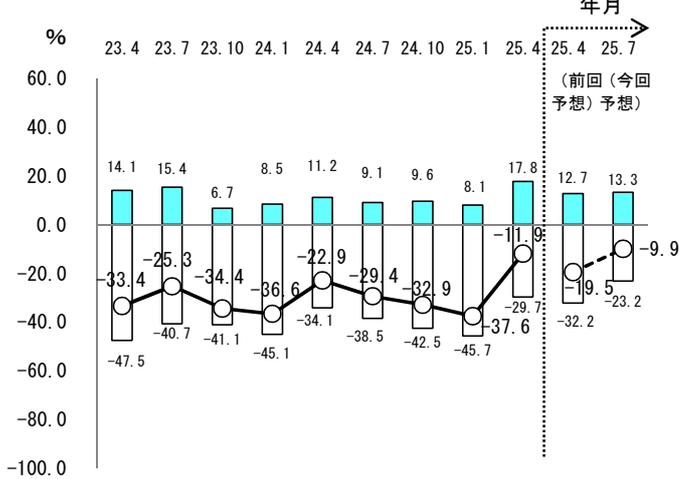
業況



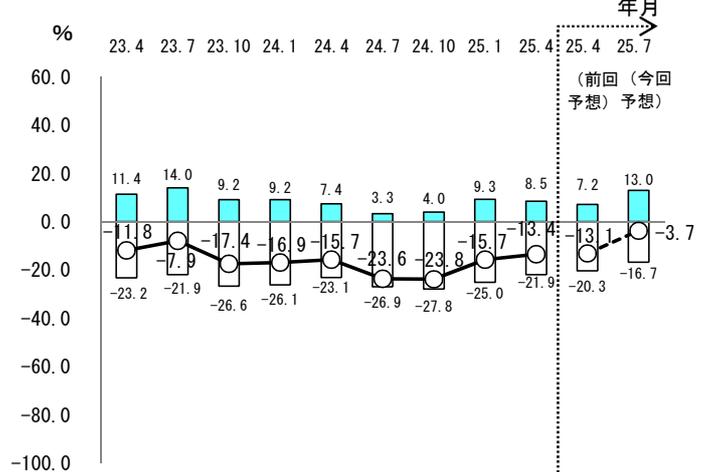
売上高



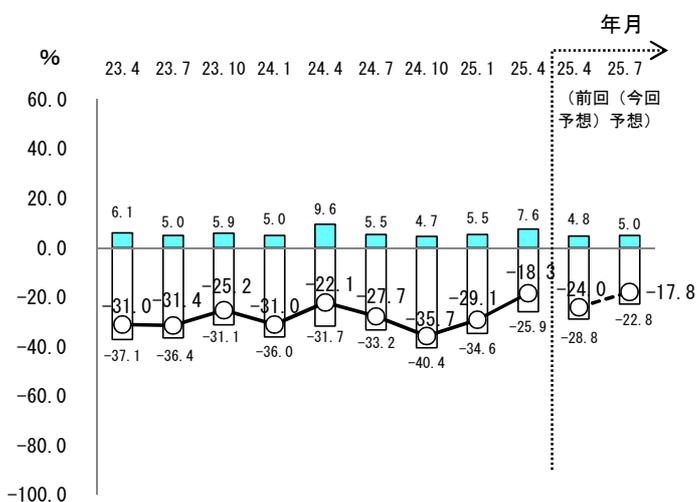
客数 (取引先数)



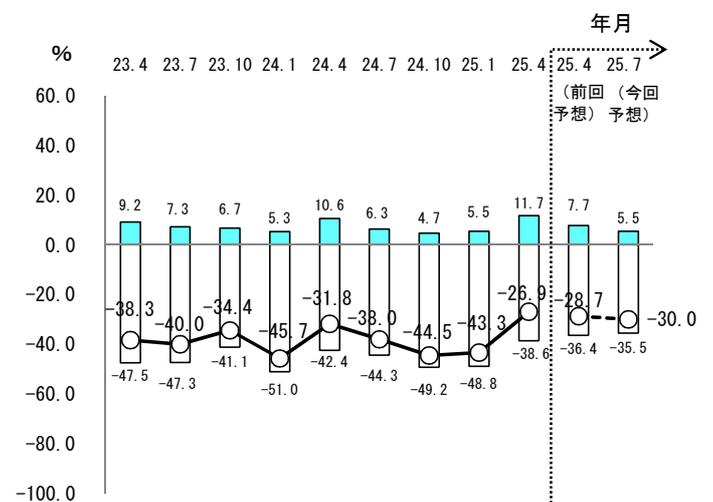
販売価格



資金繰り

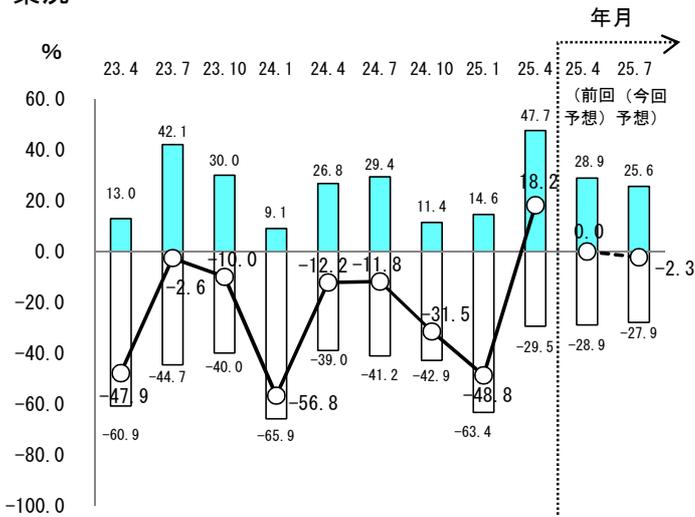


収益率

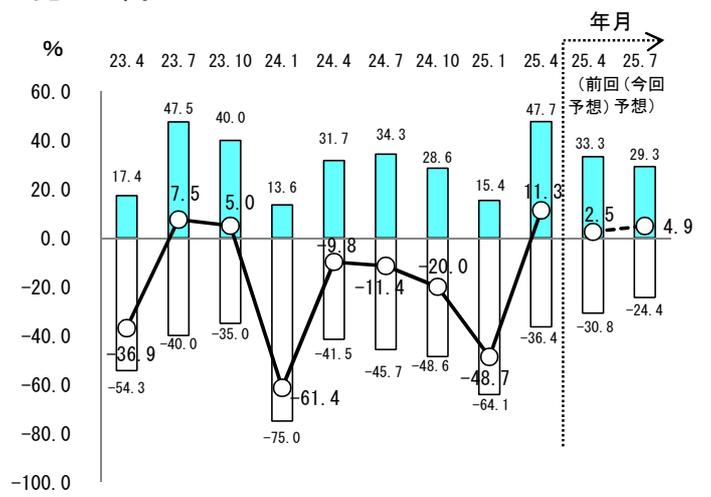


才 飲食業・宿泊業

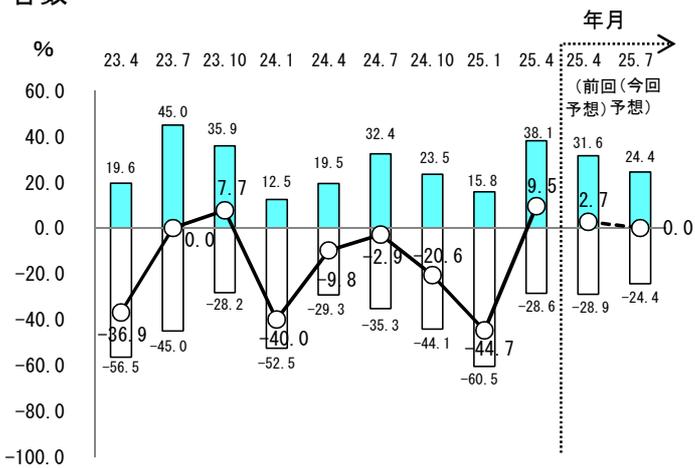
業況



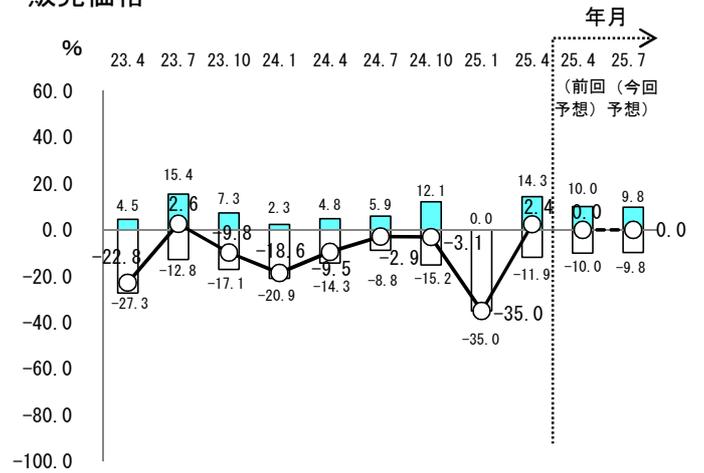
売上高



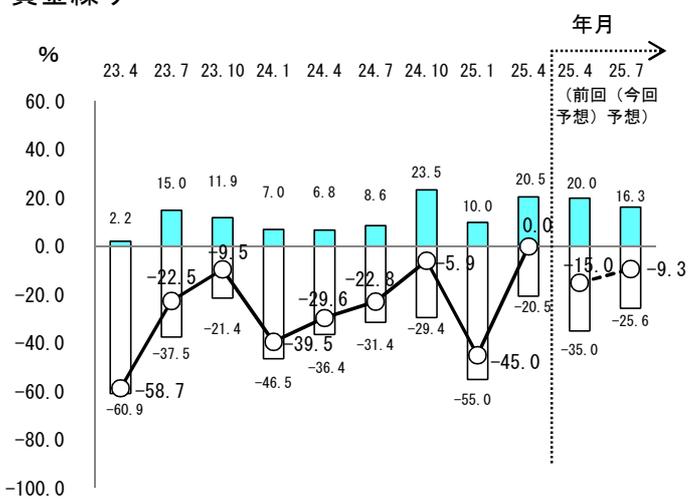
客数



販売価格



資金繰り



収益率

